

令和3年度 次代を担う中核教員養成研修実施要項

学びの改革支援課
信州大学センター

1 目的

長野県の次代の教育を担う教員に対し、教師としての心構えを見返し、教育に係る最新の知識・スキルを習得することにつながる研修を実施し、柔軟な見方や考え方を養うとともに、幅広い知見を得ることで主体的に学校づくりに関わられる中核教員としての資質・能力を高めることを目的とする。

2 実施内容

1の目的に基づき策定された研修を行う。

3 実施主体 県教育委員会、独立行政法人教職員支援機構信州大学センター

4 対象者

20代から40代前半までの教員で、各郡市から2名以内での校長会による推薦を受け、学びの改革支援課で決定した30名程度とする。

※令和2年度は、県外視察等の研修ができなかったため、令和2年度と同じ方の推薦も可

5 研修内容

次代を担う中核教員養成研修の内容は、次の(1)～(7)のとおりとする。

(1) スタートアップ研修

4月26日(月) (オンライン開催)	・一流講師による講義①(これからの学校におけるミドルリーダーシップ) (岐阜聖徳学園大学教授 玉置 崇) ・今後の推進について
-----------------------	---

(2) 総合教育センターでの希望研修

以下の、いずれかの講座を受講する。

講座番号	講座名	実施日
320941	カリキュラム・マネジメント 応用	6月14日(月)
320841	学校組織マネジメント 応用 I	7月8日(木)
370203	学級づくりと学校づくり	8月2日(月)

(3) 県外視察(視察先は候補校)

7月1日(木)～ 7月2日(金)	北陸、関西方面の先進校への視察 ※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、行き先が変更になったり、視察を取りやめて代替研修を行ったりする場合があります。
---------------------	--

(4) 夏期研修

7月30日(金) (総合教育センター)	・一流講師による講義②(学校づくりとカリキュラム・マネジメント) (横浜国立大学名誉教授 高木 展郎) ・県外視察の振り返りもしくは別途研修 ※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、オンラインでの開催になる場合があります。
------------------------	--

(5) 学校づくり実践研修

① 自校の課題の解決策に取り組む

自校の課題、自身のキャリアステージに応じた学校マネジメントの取組の計画・実践。また、中核教員サポート指導主事や教職員支援機構特別研修員の助言を受けながら、ファシリテーターとして所属校や、所属地区の各学校における校内マネジメント研修を実施。

②グループミーティング（5月～1月）

月1回を目途に、Web 会議システムにてグループ毎のミーティングを開催し、事例相談会を行う。各校の課題に取り組む過程で、相談や経過報告を行う。各グループには、中核教員サポート指導主事もアドバイザーとして参加する。

③中間報告会

9月14日（火） （オンライン開催）	②とは異なるグループを設定し、課題に対して、どのように取組を行ったのか、今後さらにどんな取り組みが考えられるのか報告し合い、意見交換をする。
-----------------------	--

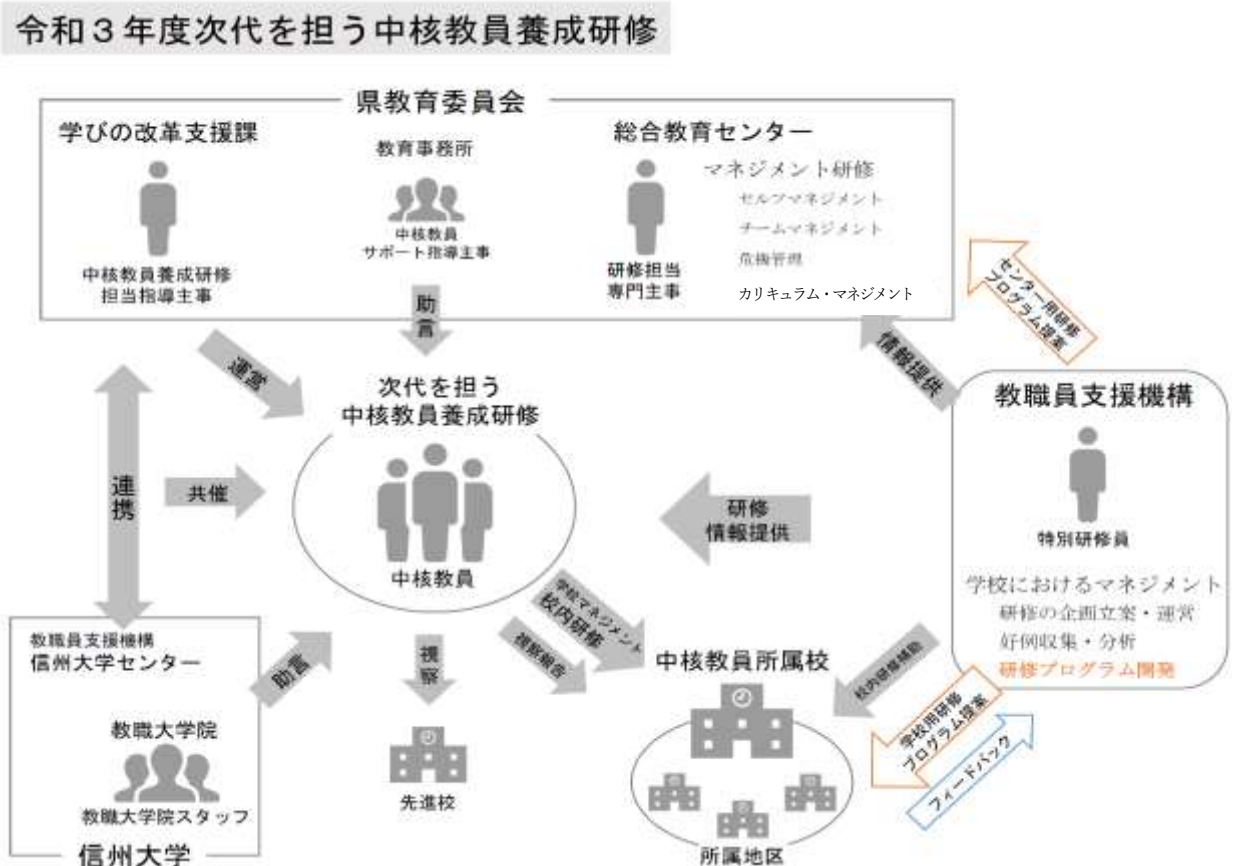
(6) 「学びの改革フォーラムながの」での発表

1月28日（金）の「学びの改革フォーラムながの」で1年間の学びや取組を発表する。

(7) 各郡市での報告会

各郡市の校長会または教頭会等において、学んだ内容について発表する機会をいただく。

6 事業の概要図



7 その他

- ・この要項の実施に関し、必要な事項は別に定める。
- ・中核教員が、所属校や所属地区の各学校における校内マネジメント研修を実施する際に、サポート指導主事の訪問要請を行う場合には、4月22日締め切りの学校訪問要請とは別に、サポート指導主事の所属事務所等へ派遣申請を提出することとする。
- ・今後、新型コロナウイルス感染症拡大に係る状況等により、内容の変更等が生じる可能性があります。